

第72回「社会を明るくする運動」 調布市意見発表会 意見発表文

学校名	晃華学園中学校
代表者氏名	川村 怜奈 (かわむら れな)
学年	3年
題名	社会を明るくする運動について
本文	
<p>私は今回「マナー」と「コミュニケーション」の2つのテーマに関連する出来事を取り上げて意見を述べよう思う。私は約3年間毎日電車で通学しているがよく感じることもある。それは日本人のコミュニケーション能力とマナーの無さだ。きっと何かで関わることになった初めて会った人に対しては誰もが礼儀正しくすると思うが、知らない人たちがのる電車の中では礼儀正しさがあまりみられないと感じている。例えば私が朝混雑する電車で立って学校の最寄駅まで向かっているときだ。</p> <p>ある駅から乗ってきた1人の高齢者の方がいた。その方は電車に乗った途端何も言わずに急に優先席に向かい座っていた高校生の男の子を強引に何回か引っ張って自分が座ったという光景を見たことがある。この時高校生は何回も引っ張られながらも最初の何回かは困惑した顔で無理やり座っていた。この何回か引っ張られた後空気に耐えられなくなったのか席をたった。この時周りの大人の反応はというと何が起こったかも気にせずイヤホンで音楽を</p>	

聴いたり、動画を見たり、高齢者の方を変人がいるような目で見てすぐ知らんぷりする人など誰1人その高齢者さんに対し止めるよう言わなかった上、高校生の男の子を気遣う声さえ見られなかった。事実私もその時何もできなかった。きっと全ての人がある場面を見てどうでもいいとは思わなかったと思う。きっと大丈夫かと心の中で心配していた人の方が多いと思う。しかし実際そうになると行動に出せない。行動に出せた人がたまにいるが、その人はスマホなどでその行動を撮られネットで拡散されその人の行動した勇気を褒める人が続出する。果たしてそれで良いのだろうか。行動に出せたことだけで素晴らしいと周りから評価を受けなければならないのだろうか。行動にさせてない要因の一つとして近年続出している電車の中での事件やトラブルから怖いという恐怖心や自分の命を守ろうという思いがあるからのではないかなと思う。でも私はこのような事件がおきているからこそ行動することが普通になっていくべきであると思う。もし行動することが普通になったとき電車の中で何か乗客同士のトラブルや事件があった時も協力して命を救うことができると思うからだ。

このような社会になるにはもう1つ大きな壁がある。それはスマホだ。現代人には欠かせないものであり大人や学生のほとんどはスマホに依存していると思う。そのために電車の中でもイヤホンをして動画に夢中になっている。だから周りの状況を見れず無視してしまう人が多いと思う。しかし全ての人

がスマホを使わないということは無理だと思うので1人が気がついたら周りの人に協力を求められる環境になれば良いと思う。しかしながら行動できるようになるには実際に被害にあってどれだけその立場に遭ったらつらい気持ちになるか体験して実感することが皆が行動するようになる1番の近道でありそれ以外方法がないのではないかと考えているがそのような事ができるはずがない。

次に人が困っていない時のコミュニケーションの無さとマナーの無さについてだ。学校から帰宅する際自分が乗っていた電車が最寄駅で終点のことがあった。この際に普段あるはずの駅員さんの車両チェックがなく、ある1人の男性が眠ったままだった。この時周りの人は気づいているにも関わらず起こさずに素通りしていった。私は降りた時点で寝ている人がいることに気づいたのでそのまま駅員さんに伝えた。例えその人に直接声がかけられなかったとしても気がついたら近くにいる駅員さんなどに声をかけることくらいできるのではないかと、そう思った。これがもし海外だったとしたら全く違う状況になっていたと思う。もしアメリカなどだったら挨拶くらい気軽に声をかけていたと思う。このような状況になるのは日本人にありがちな目立ちたくないといった遠慮する気持ちが全面に現れた行動なのではないかと思った。いつか自分自身がその立場にたった時困るのは自分だ。周りの人がもし自分だったらどう思うのか考えて行動するべきだと思う。

今まで日本人のコミュニケーションの無さについて自分の日常の出来事から述べた。ここからはこのような状況であることが何に影響するのかということ述べる。まず行動することができないというのは競争に打ち勝つことができなくなってくる。例えば今の時代自分の実力をアピールできなくなってくる。そのため国内の中でさえ勝てることができなくなっていくために、実力がある人がつける仕事などに段々と日本人がつけなくなっていく。つまり日本人の給料が段々と低くなっていく。物価がただでさえ急上昇している且つ少子高齢化が進んでいる中で年金の問題など沢山に問題を抱えているにも関わらずお金がない事はそれらの問題を解決することができないということであり、日本人はどんどん貧しく衰えていってしまう。つまり言い過ぎかもしれないが日本に明るい未来がなくなってしまうのではないかと考える。

このように今の時代に当たり前だと人々が考えている状況も「コミュニケーション」や「万一」の観点から見るとあまり良い状態ではないことがわかる。社会を少しでも明るくするのなら以上のような出来事があつた際に知らない人でも声をかけたり助けてあげられる勇気と行動力が必要だと思う。そのためには誰かがやってくれるからいいのではなく、自分からやってみようという少しだけ気持ちを踏み出してみることが必要であり、その1人の行動によって周りの人にも影響してくるのではないかと考える。特に若者の行動

は大人にも刺さるのではないかと個人的に思うので積極的に行動すべきだ  
と思う。